

経営比較分析表（令和元年度決算）

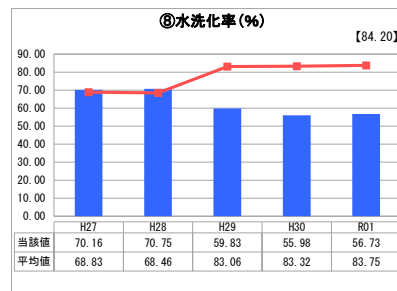
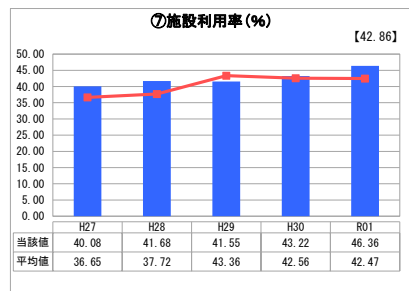
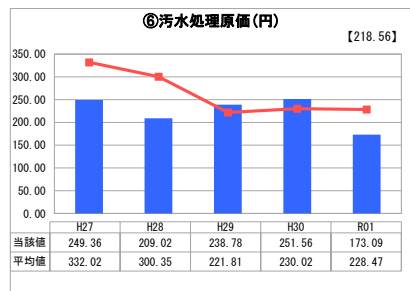
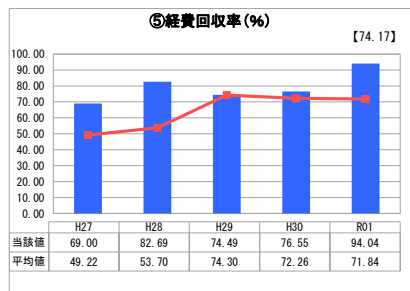
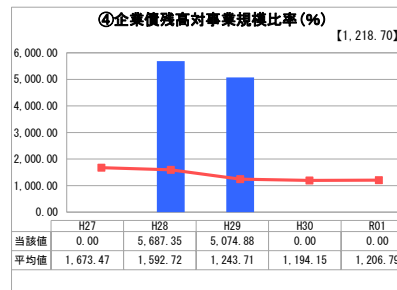
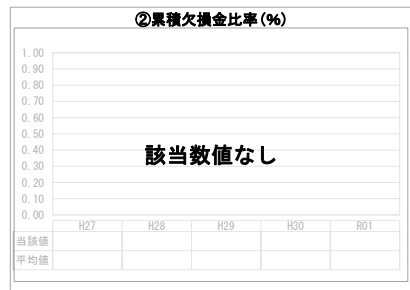
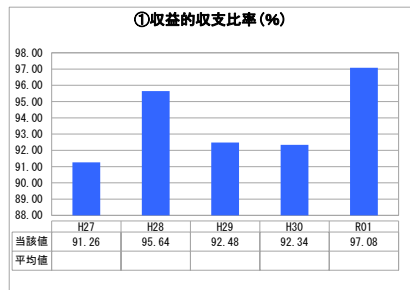
茨城県 石岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.67	97.51	3,960

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
74,540	215.53	345.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,672	3.21	2,701.56

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は100%未満となっている。要因としては、地方債償還金等が考えられる。今後も収益の向上と費用削減が必要である。

④企業債残高対事業規模比率は、前年度と同じ率となっている。要因としては、平成30年度から一般会計負担額に計上したためである。今後も水洗化率向上を図り、有収水量を確保し、収益を向上させていく必要がある。

⑤経費回収率は、類似団体平均値に比べ高い数値となっているが、比率100%未満であり、汚水処理経費を使用料収入で賄うことはできていない。今後も経費の節減を図る一方、水洗化率向上を図り、有収水量を確保し、収益を向上させていく必要がある。

⑥汚水処理原価は、前年度と比べ低い数値となっている。今後も経費の節減を図り、汚水処理原価の低減に努めていく必要がある。

⑦施設利用率は、類似団体平均値に比べ高い数値となっている。今後も処理区域内の水洗化率と下水道施設の利用率の向上に努めながら、有収水量の確保と、収益を向上させていく必要がある。

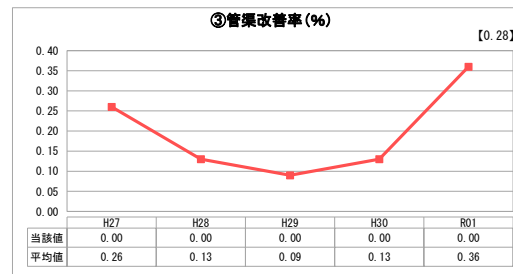
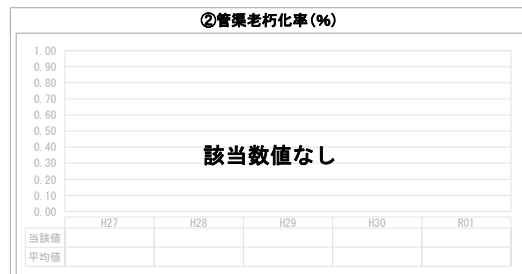
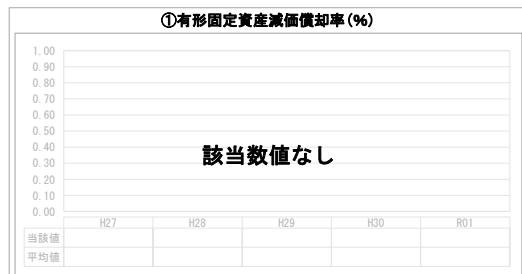
⑧水洗化率は、類似団体平均値に比べ低い数値となっている。今後も戸別訪問や広報掲載等を実施し、水洗化率を向上させていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

下水道事業は、先行的に施設整備を行う事業であり、施設建設に要した経費の回収に長い年月を要するため、今後も経費の節減を図り、供用開始後は、水洗化率向上に努め、有収水量を確保し、下水道施設利用率を高め、収益を向上させていく必要がある。

また、下水道施設老朽化による更新・改良に伴う投資増も見込まれることから、ストックマネジメント計画に基づき、適時、更新・改良を進めることも必要である。

2. 老朽化の状況



全体総括

下水道事業は、先行的に施設整備を行う事業であり、下水道施設建設に要した経費の回収に長い年月を要するため、今後も経費の節減を図り、供用開始後は、水洗化率向上に努め、有収水量を確保し、下水道施設利用率を高め、収益を向上させていく必要がある。

また、下水道施設の老朽化による更新・改良に伴う投資増も見込まれることから、ストックマネジメント計画に基づき、適時、更新・改良を進めることも必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。